平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月31日

上場会社名　株式会社 田谷　　上場取引所　東
コード番号　4679　URL　http://www.taya.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 田谷　和正
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 兼 執行役員経営企画推進室長　(氏名) 田代　久士　TEL 03-5772-8411

四半期報告書提出予定日　平成25年11月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,912	△1.8	△130	―	△133	―	△125	―
25年3月期第2四半期	6,019	△3.3	△14	―	△27	―	△67	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△25.20	―
25年3月期第2四半期	△13.47	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	8,177	4,024	49.2	805.41
25年3月期	8,614	4,260	49.5	852.61

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　4,024百万円　25年3月期　4,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	22.00	22.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	22.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,155	0.9	140	90.8	135	93.1	20	―	4.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	5,100,000 株	25年3月期	5,100,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	102,895 株	25年3月期	102,895 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	4,997,105 株	25年3月期2Q	4,997,105 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書
第２四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策などの効果もあり、緩やかに回復しつつありますが、海外景気の下振れが、国内景気を下押しする懸念もあり、依然として先行きが不透明な状況となっております。

美容業界におきましては、景気回復感から個人消費の持ち直し傾向にあるものの、依然、雇用・所得環境は低迷したままであり、業界内の店舗間競争も激しく経営環境は極めて厳しい状況となっております。

このような状況の下、当社といたしましては『顧客生涯価値の創造』をスローガンに、お客様との強い信頼関係を築き継続的なお付き合いをしていただけるように、顧客サービス等の一層の充実を図り、「優れた技術と優れたサービスを提供し、地域における顧客満足ナンバーワンのサロン」を目指し、既存店の強化を行ってまいりましたが、個人消費動向は依然として慎重であり、退職デザイナーの顧客離れや、今夏の記録的な猛暑やゲリラ豪雨などによる来店周期の乱れもあり、例年繁忙月である７月も来店客数が伸びず、当第２四半期累計期間における既存店の入客数は、前年同期比5.3%減と低調に推移しました。

店舗につきましては、美容室２店舗（TAYA 武蔵小杉東急スクエア店、Shampoo 鶴見店）を新規出店を行い、一方で美容室１店舗（Shampoo 千葉長沼店）を閉鎖いたしました。また、既存美容室１店舗（TAYA千葉そごう店）の全面改装を行っており、当第２四半期会計期間末現在工事中であります。これにより当第２四半期会計期間末の店舗数は、改装工事休業中の店舗を含め、美容室150店舗と小売店１店舗となりました。

以上の結果、当社の第２四半期累計期間の業績は、売上高5,912百万円（前年同期比1.8%減）となり、営業損失130百万円（前年同期は営業損失14百万円）、経常損失133百万円（前年同期は経常損失27百万円）となり、四半期純損失は125百万円（前年同期は四半期純損失67百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期会計期間末の総資産は8,177百万円となり、前事業年度末と比べて437百万円減少いたしました。

流動資産の残高は2,491百万円となり、前事業年度末と比べて333百万円減少いたしました。固定資産の残高は5,686百万円となり、前事業年度末と比べて103百万円減少いたしました。主な減少は、現金及び預金の減少242百万円、売掛金の減少114百万円、建物の純減68百万円であります。

当第２四半期会計期間末の負債総額は4,153百万円となり、前事業年度末と比べて201百万円減少いたしました。

流動負債の残高は2,091百万円となり、前事業年度末と比べて337百万円減少いたしました。固定負債の残高は2,061百万円となり、前事業年度末と比べて136百万円増加いたしました。主な増加は、長短借入金の純増71百万円、支払手形及び買掛金の増加45百万円、主な減少は、社債の償還50百万円であります。

第２四半期会計期間末の純資産は4,024百万円となり、前事業年度末と比べて235百万円減少いたしました。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末49.5%から49.2%に減少いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物は(以下資金という。)前事業年度末に比べ155百万円減少し、1,373百万円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は46百万円(前年同四半期は22百万円の獲得)となりました。

これは主に、税引前四半期純損失141百万円、法人税等の支払41百万円があったことに対し、減価償却費160百万円、売上債権の減少115百万円、仕入債務の増加47百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期累計期間において、投資活動の結果使用した資金は78百万円(前年同四半期は355百万円の使用)となりました。

これは主に、店舗の新規出店及び店舗改装にともなう有形固定資産の取得による支出174百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は122百万円(前年同四半期は42百万円の使用)となりました。

これは主に、長短借入金の純増71百万円あったものの、社債の償還50百万円、配当金の支払110百万円があったことよるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第２四半期累計期間の業績を踏まえ、個人消費の先行き懸念を鑑み、平成25年10月28日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を発表いたしました。これによる通期業績見通しは、売上高12,155百万円（前事業年度比0.9%増）、営業利益140百万円（前事業年度比90.8%増）、経常利益135百万円（前事業年度比93.1%増）、当期純利益20百万円（前事業年度は当期純損失47百万円）となる見込みであります。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はございません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はございません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はございません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,910,534	1,667,710
売掛金	557,165	442,356
商品	49,197	47,683
美容材料	31,046	32,445
その他	278,167	302,597
貸倒引当金	△899	△899
流動資産合計	2,825,212	2,491,893
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,785,136	1,716,742
土地	1,375,445	1,375,445
その他（純額）	56,288	44,772
有形固定資産合計	3,216,870	3,136,960
無形固定資産	54,771	50,915
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,035,915	2,015,542
その他	482,322	482,742
貸倒引当金	△151	△151
投資その他の資産合計	2,518,086	2,498,133
固定資産合計	5,789,728	5,686,009
資産合計	8,614,941	8,177,903

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	400,408	445,993
短期借入金	120,300	106,100
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	551,111	450,644
未払法人税等	70,634	58,638
賞与引当金	199,848	190,208
資産除去債務	4,130	－
その他	982,990	740,089
流動負債合計	2,429,423	2,091,673
固定負債		
社債	230,000	180,000
長期借入金	1,071,698	1,257,896
退職給付引当金	384,805	382,293
資産除去債務	197,726	208,248
その他	40,712	33,096
固定負債合計	1,924,941	2,061,534
負債合計	4,354,365	4,153,208
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,480,180	1,480,180
資本剰余金	1,702,245	1,702,245
利益剰余金	1,237,605	1,001,725
自己株式	△159,455	△159,455
株主資本合計	4,260,575	4,024,695
純資産合計	4,260,575	4,024,695
負債純資産合計	8,614,941	8,177,903

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	6,019,379	5,912,361
売上原価	5,278,583	5,300,898
売上総利益	740,795	611,463
販売費及び一般管理費	755,525	742,425
営業損失（△）	△14,730	△130,962
営業外収益		
受取利息	728	1,082
不動産賃貸料	5,630	5,456
その他	5,988	10,892
営業外収益合計	12,347	17,431
営業外費用		
支払利息	14,695	13,983
不動産賃貸費用	4,121	3,946
社債発行費	3,417	－
その他	3,006	1,773
営業外費用合計	25,241	19,703
経常損失（△）	△27,624	△133,234
特別損失		
固定資産除却損	4,096	8,092
訴訟関連損失	14,677	－
特別損失合計	18,774	8,092
税引前四半期純損失（△）	△46,399	△141,327
法人税、住民税及び事業税	29,622	30,268
法人税等調整額	△8,709	△45,651
法人税等合計	20,912	△15,383
四半期純損失（△）	△67,311	△125,943

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失（△）	△46,399	△141,327
減価償却費	144,420	160,461
賞与引当金の増減額（△は減少）	△18,394	△9,640
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△419	△2,512
受取利息	△728	△1,082
支払利息	14,695	13,983
固定資産除却損	4,096	8,092
訴訟関連損失	14,677	－
売上債権の増減額（△は増加）	91,673	115,764
たな卸資産の増減額（△は増加）	△3,013	3,267
仕入債務の増減額（△は減少）	7,444	47,677
その他	39,155	△92,422
小計	247,208	102,262
利息の受取額	313	664
利息の支払額	△14,364	△15,597
訴訟関連損失の支払額	△12,600	－
法人税等の支払額	△198,003	△41,185
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,553	46,143
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△226,781	△237,154
定期預金の払戻による収入	206,415	324,937
有形固定資産の取得による支出	△220,991	△174,172
投資有価証券の取得による支出	△100,000	－
敷金及び保証金の差入による支出	△21,880	△79
敷金及び保証金の回収による収入	16,482	20,275
その他	△8,651	△12,610
投資活動によるキャッシュ・フロー	△355,406	△78,803
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	231,000
短期借入金の返済による支出	△354,432	△245,200
長期借入れによる収入	159,000	399,000
長期借入金の返済による支出	△239,002	△313,269
長期未払金の返済による支出	△17,154	△13,952
リース債務の返済による支出	△19,188	△19,724
社債の発行による収入	200,000	－
社債の償還による支出	△63,000	△50,000
配当金の支払額	△109,143	△110,311
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,920	△122,458
現金及び現金同等物に係る換算差額	△112	76
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△375,886	△155,041
現金及び現金同等物の期首残高	1,865,423	1,528,814
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,489,536	1,373,773

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はございません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はございません。